

Japanese Registry of Neuroendovascular Therapy 2 (JR-NET2)
日本国内の脳神経血管内治療に関する登録研究2

事務局 先端医療センター脳血管内治療科
〒650-0047 神戸市中央区港島南町 2-2

TEL; 078-304-5200, FAX; 078-306-0768
E-mail; ibri-net@fbri.org



2010年3月7日

日本脳神経血管内治療学会専門医各位

神戸市立医療センター中央市民病院
脳神経外科、脳卒中センター
坂井 信幸

日本国内の脳神経血管内治療に関する登録研究2
Japanese Registry of Neuroendovascular Therapy2 (JR-NET2)

研究参加のお願い

拝啓 先生にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

循環器病研究班（20 公-2：カテーテルインターベンションの教育訓練システムの構築と有効性に関する研究、主任研究者：坂井信幸）では、同じく循環器病研究班（17 公-1：カテーテルインターベンションの安全性確保と担当医師の教育に関する指針（ガイドライン）作成に関する研究、主任研究者：坂井信幸）で実施した「日本国内の脳神経血管内治療に関する登録研究(JR-NET)」に引き続き、日本脳神経血管内治療学会専門医（指導医）が治療に関与した脳血管内治療症例を登録することを計画しました。

JR-NET では200名の専門医の協力を得て2005-2006年に国内で実施された11,114件の脳血管内治療症例が登録されました。その成果は、「循環器病研究班編脳血管内治療診療指針（JNET 増刊 Vol. 3-Suppl）」としてまとまりましたので近日中にお届けいたします。ご協力頂きました先生には心より御礼申し上げます。

当研究班ではJR-NETでの経験を生かし、2007-2009年の実施例を登録するシステムを構築しました。Primary Endpointを30日後の転帰としていますが、さまざまな項目を登録することにより脳血管内治療の実績・実態について有意義なデータを蓄積することができるように準備しました。また、JR-NET2では、JR-NETの時と同様、患者情報は臨床研究情報センターが運営する登録センターに対して秘匿され、登録者情報は研究班（研究者）に対して秘匿されるシステムを構築しております。データに疑義が出た場合は、研究者は登録者を特定できないため登録センターに問い合わせる必要がありますが、それにより登録者がストレスなく治療実績を登録することができます。複数の専門医（指導医）が関与された症例では、どなたか代表者が登録して頂き、重複登録を避けるとともに入力作業を少しでも軽減するよう工夫したつもりです。

日々の診療で大変お忙しいことと拝察申し上げますが、本研究の意義をご理解頂きご協力賜りますようお願い申し上げます。登録されたデータをさらに有意義に活用するため、研究班内の討議を経てからになります。ご参加頂きました先生の中でさらに詳細な分析を希望される先生に、申請により必要な部分を提供することを念頭においております。より多くの先生のご参加を得て、JR-NETが大きな共有財産となることを研究班は願っております。重ねて先生方のご協力をお願いする次第です。何卒宜しくようお願い申し上げます。

敬具